

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	臼井健太郎	所属	立命館大学						
研究会等名称	YPS2023 (Young Perceptionist Seminar 2023)								
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <table border="0"> <tr> <td>会員</td> <td>15名 (うち認定心理士</td> <td>2名)</td> </tr> <tr> <td>非会員</td> <td>37名 (うち認定心理士</td> <td>0名)</td> </tr> </table> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>実施日 2023年9月4日(月)・5日(火)</p> <p>実施場所 立命館大学大阪いばらきキャンパス Zoomによるオンライン配信</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手研究者による研究発表</li> <li>・特別講演</li> <li>・懇親会</li> </ul> <p>成果</p> <p>研究発表数は18件であった。視覚、聴覚、身体感覚、顔認知、言語心理学、動物心理学など、知覚心理学・認知心理学を中心に幅広いテーマの研究がなされた。例年と比べて、学部生や大学院修士課程生の発表数が多かった。研究発表はzoomによってオンライン配信もされた。各発表に対しては活発な質疑応答がなされた。研究発表を通じて、発表者にとっては自身の研究内容を深める機会を、参加者にとっては知覚心理学・認知心理学の幅広い分野の知識を得る機会を提供した。</p> <p>特別講演は東京大学の高尾沙希氏による、「錯視が切り開く私のキャリアパス」であった。自身の研究内容のことや、海外の大学での研究滞在の経験、進学先の選び方などについて講演していただいた。参加者、とくには大学院生以下の者にとっては自身のキャリアについて考える良い機会となった。</p> <p>懇親会や休憩時間では参加者同士の自由な交流が行われていた。YPS2023の参加者は、北は北海道から、南は沖縄から、全国各地から集まった。また海外在住でオンラインの参加者もいた。初めて会う同士の参加者がほとんどだったようだが、2日間を通じてそれぞれが親睦を深めていた。</p> <p>将来計画</p> <p>YPSは今後も継続開催していく予定で、すでにYPS2024の開催準備はYPS2024実行委員会によって進められている。今年は愛知県で合宿形式の研究集会として開催予定である。</p>			会員	15名 (うち認定心理士	2名)	非会員	37名 (うち認定心理士	0名)
会員	15名 (うち認定心理士	2名)							
非会員	37名 (うち認定心理士	0名)							

(様式5)

2024年 4月 29日

日本心理学会研究会 2023年度会計報告書

研究会名称 YPS2023 (Young Perceptionist Seminar 2023)

研究会番号 23027

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2023年6月4日	WIX.com独自ドメイン費用	¥3,080
2023年6月20日	WIX.com有料プラン費用	¥6,600
2023年9月4日	飲料・紙コップ	¥3,113
2023年9月4日	USBメモリ・クローク識別用紙製タグ	¥880
2023年9月4日	切手代	¥84
2023年9月5日	不織布マスク	¥767
2023年9月4日	招待講演講師交通費	¥13,110
2023年9月5日	招待講演講師交通費	¥13,990
	支出合計	¥41,624